

“宇宙を視座に大人が変わる 子どもが輝く 美しい星が生まれる”【子どもと宇宙と未来をつなぐ】

かがやく宇宙の微塵となりて

会長 平林 久

KUMA初代会長の的川さんから引き継いだ平林です。どうぞよろしく願います。

的川さんとは、わたしがまだ東京天文台の野辺山宇宙電波観測所に勤務していた1980年代からお近づきになりました。電波天文衛星「はるか」による国際観測プロジェクトのために宇宙科学研究所に移ったあとも、的川さんについて日本各地での「宇宙学校」に参加したり、JAXA時代になって実現した「宇宙教育センター」に関わりました。

的川さんは広い視点で宇宙を愛し、文化を大切と考え、リベラルな言動をされます。私が好きなのところです。大事な的川さんの健康が交代の理由です。よってまず、創立者である的川さんの目指した方向、KUMAの理念をしっかり継ぎたいと思います。

会長になってあらためてKUMAとはなんだろう、何をすべきなのだろうと考えるようになりました。それはしかるべく実行に移され、会員の皆さんの求める心になつていくのだろうか。積極的な想いが満たされるようになっていくだろうか。

現在、目に見えるKUMAの代表的な活動が「宇宙の学校」です。これは遠藤先生を中心にKUMAの精神にむけてデザインされ、全国的なひろがりで行われているものです。

5年間の「宇宙の学校」はそうのようにして広がってきました。これで全国をカバーしようとしたら数百倍の活動が必要でしょうが、規模を広げることでもさることながら、さらに魅力的な方向を見出すことが大事だと話しています。昨年末から、宇宙の学校の開催場所を運び、現場を観ることを心がけました。



釈迦三尊像のポーズで、向かって左から平林新会長、的川名誉会長、遠藤副会長

岡山、函館、河北（石川）、奥州市3回、網走、奈良、伊豆、塩釜、多良木（熊本）です。各地に積極的な開催者、オーガナイザーがおられることが次第にわかってきました。そして時間がいたけると子供たちと父兄に語りかけるようにしました。

私たちはいい未来を子どもたちに渡さなければなりません。今の社会はなかなかそうはいっていかないと感じることがあります。それでも未来のために子どもたちに明るいエールを送らなければなりません。昨年10月に亡くなられた「やなせたかし」さんの優しさとりべるな態度が好きで、「アンパンマンの歌」から、時は早く過ぎる 光る星は消える だから君は行くんだ微笑んで という部分をスクリーンに映して子どもたちと眺めたりしました。なんだかわかりませんが、いい文句ではありませんか。

遠藤先生と打合わせで岩手県一関市の「宮沢賢治と石のミュージアム」を訪れた時に、近くに賢治の「農業芸術概論要綱」の一節の石碑があることを知りました。これがとても気に入っています。

まづもろともにかがやく

宇宙の微塵となりて

無方のそらにちらばらう

KUMAの心はこんなかなあと考えてもいます。

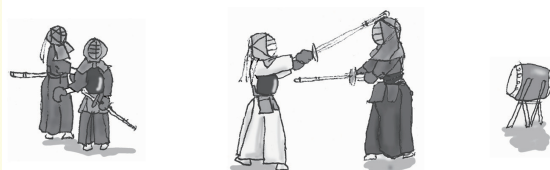
引き続き力強い未来へ――

名誉会長 的川泰宣

設立から5年。宇宙を軸にしなから子どもと宇宙とつなぐ流れは、私たちの想いをはるかに超えて、力強いひろがりを見せています。「宇宙の学校」の予想以上の展開は、KUMAの同志たちが描いた構想が、確かに日本中に潜在しているニーズを掘り起こしつつあることの雄弁な証と言えます。

この度私の一身上の都合で会長の任を降ろしていただきましたが、新会長の平林久さんは、私とはまた異なったスタンスで、KUMAの活動の地平をひろげてくれることは確実です。

これまでのすべてに感謝するとともに、今後のみなさんの変わらぬご協力を、草葉の「こちら側」から願います。



学びながら伝える

－ 子どもたちとつくる未来 －

うちの「宇宙の学校」



TAMA 宇宙委員会代表

会員 三浦千穂

現在、多摩市では2か所で「宇宙の学校」を開催しています。一つは開校してから4年目を迎えた『多摩市「宇宙の学校」』、そしてもう一つは3年目を迎えた『多摩市「宇宙の学校」@東寺方小学校』です。主催団体であるTAMA宇宙委員会と多摩市「宇宙の学校」@東寺方小学校実行委員会は協力関係にあり、どちらも実行委員会形式の市民団体です。

約4年前、TAMA宇宙委員会（旧・多摩市宇宙の学校実行委員会）を立ち上げたきっかけは、私自身が子どもたちと一緒に何か楽しいことに参加したいと考えたことでした。あることで「宇宙の学校」の存在を知った私は多摩市近辺で参加できる会場をKU-MAのHPで探しましたが全くありません。というもほとんどが主催者の事情で、参加対象が開催地に居住する市民に限定されていたからです。そこで参加を諦めることも出来たでしょう。

しかしKU-MA設立にあたっての的川先生の熱い思いに触れたとき時、私の中で何か突き動かされたように「誰かがやるのを待つのではなく、この私が多摩で『宇宙の学校』を開校させよう」決めたのでした。

実際にスクーリングで行うことは工作や実験ですが「宇宙の学校」の活動の根幹には私たち一人一人、生命のひとつひとつが宇宙の一部なのだという事実と、自他共に尊くそしてお互いが必要な存在なのだという多様性の共生思想があります。それが子どもたちの「気づき」につながっていく。そしてその「気づき」が閉塞した現代に差し込む一筋の光、未来への希望となっていくわけです。こんな素晴らしい学校がほかにあるでしょうか。

小さな一歩ではあるかもしれない、しかし子どもたちに希望を与えることが確実にできるこの活動を私はライフワークとして取り組んでいこうと思っています。今後は「宇宙の学校」に参加できる子どもを増やすべく、多摩市近辺で開催したいという方への主催団体設立支援等にも力を入れていきたいと考えています。



KU-MA とわたし



相模原「宇宙の学校」

実行委員会・事務局

会員 長崎克央

数年前の夏、敬愛する知人より「君に紹介したい方がいるので付き合ってくれたまえ」とのお誘いを受け、何も知らずに連れていかれたところがJAXA宇宙科学研究所で、お会いした方が的川先生でした。当時先生はKUMABAを設立されたばかりで、一気にその想いをお話くださいました。それを聞いた私は大いに心を動かされ、早速、入会し、様々な経験をさせてくださいたいです。

先生がKUMABAを通して世の中に投げかけた「何か」が、当時は子供が通う小学校でPTA役員をしていた私がちやうど求めていた「何か」と一致していたような気がしました。その後相模原で「宇宙の学校」を立ち上げ、試行錯誤を重ねつつ「宇宙の学校」を通して「何か」を実践するとともに、事務局の近くに自宅も職場もあるため、ささやかですがお手伝いをしています。若いころから世界観という言葉に敏感で、様々な国を旅して異なる文化を知ることから日本を眺め直して何やら分かったような気分でした。KUMABAの活動を通して地球を外から眺めたよ

うな見聞を得て、地球のことが分かるようになったか？と言うとそうでもありません。何故か身の回りの事への愛おしさを肌身で感じるようになったのです。身近な事（特に小さいのち・自然など）に豊かさを感じ、物の見方や考え方が少し変わったような気がします。

ところで私が感じている「何か」とは、さほど特別な事ではなく「良識を持つて行動する」なんて事かと思っています。二月に大雪が降り、隣近所の人たちと力を合わせて周辺の雪かきをしました。自宅の前はもちろんですが、余裕のある人は空地の前やゴミ捨て場、最後はこども達の通学路まで雪かきを終え、汗をかいた爽やかな笑顔で「お疲れさまであり」こども達はそそのそばで手伝ったり、滑り台を作ったり、雪合戦をしたり：かつてはあたりまえの風景でしたが、昨今はどこでも行われているわけでは無さそうです。

KUMABAの活動はどこか「雪かき」に似ていませんか？



「宇宙の学校」と教材 I

副会長

遠藤純夫

KUMABAは、宇宙の魅力を通して、子どもたちの明るい未来を築きたい、豊かな心をもった子どもたちを育てたいと思う人たちの集まりです。

主な事業の一つに、JAXA宇宙教育センターと連携した「宇宙の学校」を全国で展開しています。「宇宙の学校」は、親子で行う家庭学習に重点をおいた教育プログラムで、先生は、お父さんやお母さんなど子どものそばにいるお家の人です。学習の場は家庭と年に数回実施するスクーリング会場です。子どもが「なぜ、どうして」と思ったときに、調べたり、試したり、つくったりして考え、「わかった、できた」としたらどんなにうれしいでしょう。「その時」の体験は深く心に刻まれ、知識や技能も身につけていきます。人を大きく変える「その時」を「教育の適時性」といいますが、その機会は子どものそばにいるお家の人によく訪れるはずで「宇宙の学校」では、こうした喜びを親子で味わう機会を積極的に創りだすための工夫やしくみを大切にしています。

「宇宙の学校」のテキストは、子どもの身近にある「なぜ、どうして」を「課題」に変え、親子で一緒に探求するように構成されています。子どもの多様な疑問や家庭での年間学習に対応できるように現在90を超えるテキストが用意されています。

年に数回のスクーリングは、宇宙の学校に参加している家庭の皆さんが集まり、大勢の仲間と同じ課題に取り組む学習の場です。例えば、「熱気球を打ち上げよう」では、お父さんやお母さんが協力して大きなポリ袋を加工して気球をつくり、楽しいお絵かきをして気球に夢を乗せるのは子どもたちです。親と親、親子、子どもと子どもの絆は自然と深まっていきます。

スクーリングで、「子どもの意外な面を発見した」「できものを買い与えていたが、親子でいっしょにつくる楽しさに気がついた」などいろいろな感想が寄せられています。よその親子の関係にも気付き互いに良い点を吸収しあっていることが出来ます。何より大切にしたいのが、このような親子の体験をそのまま家庭で継続実施してもらうことです。スクーリング会場が、講義形式の配置ではなく、ブルーシートになっていたり、机を合わせた作業台のようにになっているのは、同じ課題に取り組む仲間の関係を大切にしたいからです。

ここの講師やボランティアの人々の役割は、お父さんやお母さんを先生にして課題解決に当たってもらえるように仕向けることです。親をその気にさせることが冒頭に述べた「親子で行う家庭学習に重点をおいた教育」を展開するのに必須な条件となるからなのです。

「宇宙の学校」の教材はこうした視点から作られています。これらの教材については次の機会に紹介します。



■つなぐKU-MA

◇ 企業 CSR：三菱重工株式会社 広島製作所

2月6日(木) 7日(金)の2日間広島市立南観音小学校4年生142名を招いて、ものづくり学習を開催しました。これは当社のCSR活動のうち、次世代育成として毎年取り組んでいるものです。

授業では、KU-MAの講師のご指導により風車や羽根車を製作し、実際に風を受けて回転させることで、風の持っている力を実感してもらうことができました。また、理科で学習した空気の性質の発展学習として大変勉強になったようで、児童たちからは「また作ってみたい!」「沢山回転して面白かった!」等の感想が多く聞かれました。

今後も、ものづくりの楽しさを多くの児童たちに伝えていきたいと思います。(MHI 広島製作所広島総務統括部総務課)



“次世代育成”など同じ想いをテーマとした企業 CSR 活動のものづくり教室や理科授業の企画提案・開催支援をおこなっています

■会員活動報告

◇2月11日・相模原(事務所にて)

昨春の総会後の懇談会にて、KU-MA 会員相互の情報交換の場が不足気味とのご意見をを受けて、会員の宮川さんが呼びかけ人となって、これまで何度か交流会を企画して下さいました。今回は KU-MA の事務所を会場に集まっていた皆さんと、教材のアイデアなどについて実践を交えた交流会が行われました。



全国の皆さんも、お近くの会員さんを誘って、交流会を開いてみませんか?

◇2月24日・相模原(某レストランにて)



KU-MA 事務局にてお手伝いをいただいている会員の皆さまと、的川名誉会長、平林会長、事務局スタッフで、昼食会を催しました。日ごろ黙々と教材作りなどの作業をいただいているが、当日は美味しい料理と楽しい話題に花が咲き、KU-MA の想いを共有しました。

◇3月1日・新宿(新宿コズミックスポーツセンターにて)

例年行われている「子どもフェスタ」が開催され、KU-MA が出展しました。今年はミニプラネタリウムの工作をしました。毎回満員大盛況でした。毎年多くの会員の方が手伝いに来てくださっています。いつもありがとうございます。KU-MA では、全国各地の科学館、教育委員会や民間団体などの要望に応え、「宇宙の学校」教材などを使ったイベントへも出展しています。



■ご寄付のお願い

KU-MA の趣旨に賛同し活動を応援して下さい方のご寄付をお待ちしております。KU-MA へのご寄付は、寄付金特別控除の対象となります。

■KU-MA 人々

◇事務局ボランティア

企業で宇宙関係(東大宇宙研以来)の仕事に携わっていたのその後旧 NASDA から JAXA に奉職したこともあり、的川先生から案内が来た KU-MA の発足当時から会員になりました。



今は全てリタイアしのんびりした生活を送っているため時間はたっぷりあることや KU-MA 事務所の近くに住んでいることなどから、宇宙の学校などで使う教材の準備やイベントでのお手伝いなどをしております。

イベントなどでは親子が一緒になって課題に取り組んでいる姿を見ていると、こちらまで若返る思いです。

子供達には夢があり私の経験やお手伝いしていることが将来の役に立てばと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

近藤史生

■お知らせ ◇新刊案内◇

『宇宙の始まりはどこまで見えたか?』

著者 平林 久

“ビッグバン宇宙”についての
渾身の名作?!!
『私たちの宇宙に始まりがあった
ということはおどろくべきこと
です。観測でわかるやさしい
ビッグバン宇宙の話です。』

(著者 談)

3月25日刊 角川選書 540

価格 1,800 円(税抜)



～子どもたちの未来を拓くキーパーソンはあなたです～

■会員募集中!!

◇正会員: KU-MA のミッションに賛同し、活動に参加する個人と法人・団体

年会費 個人: 10,000 円、法人・団体: 50,000 円

◇賛助会員: KU-MA のミッションに賛同し、賛助する個人と法人・団体

年会費 個人: 1口 1,000 円、法人・団体: 1口 50,000 円

(それぞれ1口以上)

※個人賛助会員への会員証、メールマガジンの送付は5口以上からです。

おともだちやお知り合いの方へご紹介ください。

【お問い合わせ先】詳細は「宇宙の学校」事務局 まで

認定NPO法人 子ども・宇宙・未来の会
「宇宙の学校」事務局

〒252-5210

神奈川県相模原市中央区由野台3-1-1 JAXA内

電話・FAX: 042-750-2690

E-mail: KUMAs@ku-ma.or.jp

ホームページ: <http://www.ku-ma.or.jp>

「宇宙の学校」は、JAXA 宇宙教育センターと当会の協働事業です。

KU-MA の活動はみなさまからの会費や寄付により支えられています